
今世紀最大規模！2018年フランスにて日本文化の魅力を世界へ発信！
「ジャポニスム 2018：響きあう魂」開催記者発表会
野村萬齋さん、寺島しのぶさん、宮本亜門さんらが登壇
野村さんは「日本からも行かないと損ですね！」
寺島さんは「フランス人をあっと言わせたい！」と来年の開催を待ち望む!!



日仏両政府の合意に基づき、日仏友好 160 周年にあたる 2018 年に、フランスのパリ市内の会場を中心に、日本文化を紹介する大型文化行事「ジャポニスム 2018：響きあう魂」（以下、「ジャポニスム 2018」）の開催が決定（事務局：（独）国際交流基金）。来年の開催に先立ち、本日 2017 年 11 月 22 日（水）に開催記者発表会を開催しました。「ジャポニスム 2018」公式企画に出演予定の野村萬齋さん、寺島しのぶさんと、ローラン・ピック大使（駐日フランス大使）、クリストフ・ルリポー氏（パリ市立プティ・パレ美術館館長）に、シンボルマークの発表や日本文化についてのトークセッション、「ジャポニスム 2018」の見どころなどを紹介しました。

司会を務めたのは、ジャンルを超える演出家として国内外で活躍をされている宮本亜門さん。「ジャポニスム 2018」では、音楽と 3D 映像作品を融合させた新たな舞台芸術の演出に挑戦する宮本さんは、発表会の冒頭で「19 世紀には一世を風靡したジャポニスムですが、21 世紀にこのようなイベントを大規模に開催することで、また一大ムーブメントとなりますね。さらに先日、2024 年のオリンピック・パラリンピックの開催がパリに決まり、2020 年からの大きな文化の架け橋になると思います！」と意気込みを語りました。続いて、「ジャポニスム 2018」公式企画の舞台公演『ディヴァイン・ダンス 三番叟』で親子三代の共演を予定している野村萬齋さん、同じく公式企画の舞台公演『海辺のカフカ』で主役を務める寺島しのぶさん、駐日フランス大使のローラン・ピック氏、パリ市立プティ・パレ美術館館長のクリストフ・ルリポー氏がゲストとして登場しました。宮本さんの掛け声に合わせて、ゲスト全員で「ジャポニスム 2018」のシンボルマーク初お披露目を行いました。シンボルマークは、服部一成さんがデザインをし、『日本の文化が堂々と海を渡って行くその旗印となるように』と想いが込められており、「何とも鮮やかで、シャープな印象ですね！」と宮本さんは大絶賛しました。

次に、公式企画の見どころの紹介が行われ、その豪華な企画の内容に宮本さんはしばしば、熱のこもったコメントしました。トークセッションでは、日本の伝統文化と現代文化が、連続し、継承され、影響を受けてきたことについて、寺島さんは、「（現代の舞台をやっている中でも）私自身いつも立ち返るところは歌舞伎です。外に飛び出した時に歌舞伎を見ると、原点に戻れます。

本事業、取材に関するお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：今野円香、小川美紀

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



Japonismes 2018

文化に対する目が肥えていっしょにフランスの方々には日本文化がどう受け入れられるか楽しみです。」と伝統ある歌舞伎界に生まれながら、現代の映画・舞台にも挑戦してきた自身の経験をもとに話しました。また、今回親子三代で参加する野村さんは、「86歳の父、51歳の私、そして17歳の息子と、まさに伝統がどのように継承されているのかが体感いただけると思います。」とコメントしました。

日本文化の情報発信は控え目、地味などと言われる中、今世紀最大規模で行う大型文化行事「ジャポニスム 2018」のフランス国内での広まりについて、ピック駐日フランス大使は「これだけ準備が整っているから何も心配してない。フランス人にもっともっと興味を持ってもらい、日仏交流の担い手になってほしい。」と答えました。

続いて日本文化の魅力について聞かれた野村さんは、「日本文化は昔から現代まで全てが地層のように、（どの時代の文化も）抜けずに集積されている。（「ジャポニスム 2018」では）日本でも見られないものもたくさんあるので日本からも行かないと損ですね！（笑）」と答え、これを受けて宮本さんも「絶対行った方がいいですよ！」とコメントしました。

最後に、意気込みや抱負について聞かれた寺島さんは「フランス人をあっと言わせたいですね。本物の日本を知ってほしいです。」とコメントし、野村さんは「日本文化の厚み、深みを感じてほしい。」とコメントしました。ジャポニスム 2018について、ルリポーパリ市立プティ・パレ美術館館長は「すでにフランスでは日本文化は人気があり、今回のジャポニスム 2018は素晴らしいプレゼントです。」と来年の開催を楽しみにしている様子でした。

「ジャポニスム 2018」では、パリ市内を中心に 50 を超える企画を、展覧会や舞台公演に加えて、さまざまな文化芸術を約 8 ヶ月間にわたって紹介していきます。古くは日本文化の原点とも言うべき縄文から伊藤若冲、琳派、そして最新のメディア・アート、アニメ、マンガまで、さらには歌舞伎から現代演劇や初音ミクまで、日本文化の多様性に富んだ魅力を紹介。同時に、食や祭りなど日本人の日常生活に根ざした文化をテーマにした交流イベントも開催します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本各地の魅力をパリに向け、またパリを通して世界に向けて発信。さらに日本国内における広報活動を通じて、日本文化を再発見できる機会もつくっていきます。

※「ジャポニスム 2018：響きあう魂」の開催概要および各公式企画の詳細は、別紙「報道用資料」をご覧ください。

■開催概要

- ・正式名称：「ジャポニスム 2018：響きあう魂」開催記者発表会
- ・日時：2017年11月22日（水）15:30～16:10
- ・会場：観世能楽堂（東京都中央区銀座6丁目10-1 GINZA SIX 内 地下3F）
- ・登壇者（敬称略）：司会 宮本亜門、渡辺真理
ゲスト 野村萬斎
寺島のぶ
ローラン・ピック（駐日フランス大使）
クリストフ・ルリポー（パリ市立プティ・パレ美術館館長）

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」ウェブサイト：<https://japonismes.org>

■オフィシャル素材について

発表会のオフィシャル画像は、下記 URL（Dropbox）にアップロードしております。

goo.gl/GV6Hfq

※「ジャポニスム 2018」の報道以外での写真の使用、および二次使用はご遠慮下さい。

※写真素材などに関してはリリースがお手元に届いた貴紙・誌・番組のみの使用とさせていただきます。

他紙・誌・番組への素材の供与および掲載、オンエアは固くお断り申し上げます。

※掲載、オンエアなどの予定が決定した際、担当者までご一報いただければ幸いです。

※「ジャポニスム 2018」に関する画像素材につきましては、下記 PR 事務局にお問い合わせください。



本事業、取材に関するお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：今野円香、小川美紀

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp